

あとがき

水中・浮体橋梁研究部会として設置されたが、部会員で審議し、まず浮体橋梁について研究活動を進めることとし、鋼橋技術研究会の技術委員会で許可を受けての活動である。

当初予定より時間がかかってしまったが、Norwayの文献Manual for design of marine concrete structures を利用しての勉強会等、部会員が新しいものを学ぶチャンスには恵まれたと思っている。とはいえ、日頃の業務内容とは異なる部分での資料整理、問題点の検討、試設計と精力的に協力して下さった部会員の努力に御礼申し上げる次第である。

また、当研究部会には運輸省、日本道路公団、建設業等のメンバーも含まれており、部会活動を通じて鋼橋の技術者達が広く交流をもてたことも成果の一つと考えている。

この報告書は新しい部門の研究成果である。今後、多くの助言、指導をいただきたく考えている。